



【海洋教室】 幅広い年代の青少年が海・船を学びました ～大きく成長した小学4年生から大学生36人～

「2017春！ミステリークルーズ」(3/25(土)～26(日))は、練習帆船「みらいへ」に小学4年生から大学生計36名を乗せ、大阪湾における体験航海を無事終えました。事後アンケートでは全員が「とても良かった」「良かった」、3分の1が「船員になりたい」と回答し、なかでも「また乗りたい!」「日本での船の役割がよく分かった。」など、非常に好評でした。

出航後に初めて明かされた目的地は、「関空沖」。参加者は大阪湾を南下する間、船橋での操舵体験やマスト登り、さらに展帆作業、ロープワーク等に取り組み、夕刻に関空の南側(阪南市沖)に錨を降ろしました。夜には、川路海事振興部長による「日本を支える海運の役割」について説明を受け、「船員」や「船」に関する理解を深めました。

翌日、早朝から甲板上には日の出を見ようと多くの子供たちが集まり、山間からの日の出を盛んにカメラに収めていました。その後、対岸の田尻漁港に小型ボートで上陸し、大勢の買い物客で賑わう漁港の朝市を楽しみました。

乗船中は、多様な年代による班を編制した結果、自発的に小学生が班の責任者を務め、また年長者は年少者に気遣うなど、船上生活に必要な責任感や協調性を自然と発揮する場面が多く見受けられました。

今後も神戸運輸監理部では、関係機関・団体等と協力し、青少年への海事思想の普及、「船員」の魅力発信に向け活動を展開していきます。

【日 程】平成29年3月25日(土)10:00 神戸出港～関空沖

26日(日)関空沖～田尻漁港上陸～16:00 神戸入港

【使用船舶】「みらいへ」(総トン数 230トン) グローバル人材育成推進機構所有

【参加者】合計36人

小学生 13人(女子6人・男子7人) 中学生 10人(女子1人・男子9人)

高校生 9人(女子3人・男子6人) 大学生 4人(女子2人・男子2人)

【アンケート結果】(36人分を集計)

「体験航海の評価」 とても良かった 94% 良かった 3% NA 3%

「将来、船員を目指すか」 目指す 33% 少し思う 25%

分からない 25% 思わない 17%

配布先
神戸海運記者クラブ

問い合わせ先
神戸運輸監理部 海事振興部
担当： 筒井 西澤
電話：078-321-3149 (直通)

【参加者の声】

- ・親は医者になれと言いますが、私は船で働きたくなりました。(小4女子)
- ・マスト登りが高くて、少し怖かったけど楽しかった。(小5男子)
- ・操船体験や作業を通じて、とても海や船が身近に感じることができました(中1男子)
- ・この二日間で、海運関係の仕事に就きたいと思うようになった。(高1男子)
- ・初めての人と「不安」と「緊張」でいっぱいだったが、いろんな行動を通じて「団結」という言葉が理解できました。(高2男子)
- ・全員で協力することの大切さに気づいた。訓練で小学生が先頭にたって行動しているのが印象深かった。(大学生女子)



どこ行くの？緊張の出港式



小さい子どもも力を込めて



関空沖で朝を迎えました



お弁当持って上陸だ！



朝市で新鮮なお魚を堪能



足の下には波が見えます



帆船の醍醐味！マスト登り



力を合わせてセイルセット



船上運動会

本事業は、船員確保・育成の一環として、将来を担う青少年に「海」「船」や「船員という仕事」に関する理解を深めてもらうため、神戸運輸監理部が企画・募集し、神戸海事地域人材確保連携協議会等の協力の下、グローバル人材育成推進機構帆船「みらいへ」事業部が実施しました。

掲載されている写真以外にも転載の許諾を得た写真がありますので担当までご連絡下さい。